



インフォメーションディスプレイ マネージメントソフト

# *e-Signage Pro*

## 取扱説明書

形名 PN-SS05  
PN-SP02

### もくじ

<b>はじめに</b> .....	<b>2</b>	<b>緊急配信</b> .....	<b>23</b>
e-Signage Proを使用するための注意事項 .. 2		臨時番組 .....	23
商標について .....	2	緊急テロップ .....	26
取扱説明書の見かた .....	2	<b>管理</b> .....	<b>29</b>
用語について .....	3	状態監視・制御 .....	29
<b>インストール・起動/終了</b> .....	<b>4</b>	基本情報 .....	33
動作環境 .....	4	<b>システム更新</b> .....	<b>34</b>
e-Signage Proをインストールする .....	4	<b>配信スケジューラについて</b> .....	<b>40</b>
e-Signage Pro マネージャの起動と終了 .. 7		配信スケジューラのメニュー .....	40
動作環境設定 .....	10		
<b>配信</b> .....	<b>16</b>		
配信予約 .....	16		
配信状況 .....	20		
パネル側データ確認 .....	21		

# はじめに

このたびは、インフォメーションディスプレイ マネージメントソフト e-Signage Pro (イーサイネージプロ)PN-SS05/SP02をお買いあげいただき、まことにありがとうございます。  
本ソフトウェアは、e-Signage ネットワーク版(PN-SS02)の機能を拡張し、番組の管理や配信などの機能を強化するソフトウェアです。

## e-Signage Proを使用するための注意事項

- 本ソフトウェアは厳重な品質管理と製品検査を経て出荷しておりますが、万一故障または不具合がありましたら、お買いあげの販売店までご連絡ください。
- お客様もしくは第三者がこの製品の使用を誤ったことにより生じた故障、不具合、またはそれらに基づく損害については、法令上の責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- TV、DVD、写真など、著作権のある番組を配信・表示する際は、著作者の許諾を得てください。
- 本取扱説明書および本ソフトウェアの内容の全部および一部を、当社に無断で転記、あるいは複製することはお断りします。
- 本取扱説明書および本ソフトウェアは、改良のため予告なく変更することがあります。

## 商標について

- Microsoft、Windows、Windows Vistaは、米国Microsoft Corporation の、米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Microsoft Internet Explorer のロゴは、米国Microsoft Corporation の、米国およびその他の国における商標です。
- Androidは、Google Inc.の商標または登録商標です。Androidの商標は、Google Inc.のライセンスに基づき使用されています。
- Pentiumは、アメリカ合衆国およびその他の国におけるIntel Corporationまたはその子会社の商標または登録商標です。
- その他、製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

## 取扱説明書の見かた

本書は、e-Signage Pro バージョン4.7について記載しています。

- 押すキーは、“【】”で表記します。  
例：【Shift】キー、【Ctrl】キーなど
- メニューやウィンドウ・ダイアログボックス・ボタン・タブなどは、“[ ]”で表記します。  
例：
  1. [ツール]メニューから[動作環境の設定]をクリックします。  
[動作環境の設定]ダイアログボックスが表示されます。
- 項目やチェックボックス・ラジオボタンなどは、“[ ]”で表記します。  
例：[パネル(PNシリーズ)の状態取得]チェックボックス など
- e-Signage Proを下記フォルダ(デフォルト)にインストールした場合の説明です。  
インストールするフォルダを変更した場合は、置き換えてご覧ください。  
C: ¥Program Files ¥SHARP ¥e-Signage

- 画面や操作手順は、1例です。  
お使用の表示装置や画面の設定、OSのバージョンなどによって内容が異なる場合があります。  
また、本書に記載されているコンテンツファイルやフォントなどは、作成例です。すべて搭載されているものではありません。
- Windows、Android の基本的な操作は説明していません。

## 用語について

用語	意味
管理用PC	番組、タイムテーブル、スケジュールを作成し配信するための本ソフトウェアがインストールされたパソコンです。 「サーバPC」も同じ意味です。
表示用端末	スケジュールに従ってコンテンツを表示する端末です。 サイネージを再生する端末のうち、Windows OSのものを「WindowsPC」と表記します。 サイネージを再生する端末のうち、Android OSのものを「Android端末」と表記します。 「WindowsPC」と「Android端末」を総称して「表示用端末」と表記します。
コンテンツ(ファイル)	動画、静止画、音声など、パネルで再生する素材(ファイル)です。 お客様で用意してください。
プレイリスト	コンテンツの再生する順番、再生時間を設定したものです。
表示枠	1つのパネルを複数に分割したときの表示単位となる子画面を示します。
テロップ	スクロールメッセージです。
番組	パネルに表示する内容です。 表示枠を配置し、それぞれの表示枠にプレイリストを割り当てます。テロップを表示させることもできます。
タイムテーブル	1日のうち、どのような番組を表示させるか(番組の開始時刻など)を設定したものです。
スケジュール	1ヶ月のうち、どの日にどのタイムテーブルを再生させるかを設定したものです。
添付ファイル	HTMLファイルなどを表示するときに必要となる画像ファイルなどの総称を示します。
割り付け	どの配信データ(スケジュール、臨時番組、緊急テロップ、アップデータ)をどのパネルに配信するか設定することです。
確定	割り付けた内容を決定することです。各データのパネルへの配信が始まります。

# インストール・起動/終了

## 動作環境

項目	内容	
パソコン	CPU	Pentium 4 プロセッサ 2GHz 以上
	OS	Microsoft Windows Vista/7/8/8.1/10*(日本語版) Microsoft Windows Server 2008/2008 R2/2012/2012 R2(日本語版)
	メモリ	512MB 以上
	ハードディスク	空き容量40MB 以上(別途データ保存のための空き容量が必要)
	インターフェイス	LANポート(TCP/IP通信が動作すること)
ディスプレイ	解像度1280 × 1024 以上のフルカラーディスプレイ	
e-Signage	PN-SPO2のみ、PN-SS02(ネットワーク版)が必要	

※ デスクトップモードで使用してください。

- ・ 番組の作成や編集のため、e-Signageの動作環境を満たす必要があります。詳しくはe-Signageの取扱説明書をご覧ください。
- ・ 表示用端末がWindows PCの場合は、最新のe-Signageビューア版(PN-SV01)がインストールされている必要があります。  
表示用端末がAndroid端末の場合は、e-Signage Androidビューア版がインストールされている必要があります。  
また、パネル制御を行うためには、表示用端末とパネルをRS-232Cケーブルで接続するまたは、パネルをLANに接続する必要があります。パネルの仕様や接続方法、設定については、ご使用のパネルの取扱説明書をご覧ください。  
制御可能パネル：インフォメーションディスプレイ(PNシリーズ)、  
LB-46GX35、LB-52GX35、LB-1085、LB-T401、LB-T461、LB-T601、  
タッチディスプレイ(LL-P202V、LL-S242A)
- ・ 表示用端末のOSがWindows Vista/7/8/8.1/10の場合、表示用端末のユーザーアカウント制御を無効にしてください。
- ・ 上記以外にも、OSが動作する環境を満たす必要があります。

## e-Signage Proをインストールする

- ・ 管理者権限で操作してください。
- ・ インストールには、ライセンスコードが必要です。ライセンスコードの入手については、「はじめにお読みください」をご覧ください。

### ご参考

e-Signage Proと同時に最新のe-Signageネットワーク版(PN-SS02)がインストールされます。  
e-Signageネットワーク版がインストールされている場合は、先にアンインストールしてください。

## ●e-Signage Proをインストールする

1. パソコンを起動します。
2. すべてのアプリケーションソフトを終了します。
3. e-Signage セットアッププログラム(Setup.exe)を起動します。
  - ・ Setup.exeをダブルクリックすると、セットアッププログラムが起動されます。
  - ・ インストール中、セキュリティの警告画面(発行元は確認できませんでした。)が表示された場合は、[実行]をクリックしてください。

[e-Signage Pro CD-ROM]をお持ちの方は

- ① [e-Signage Pro CD-ROM]をCD-ROMドライブにセットします。

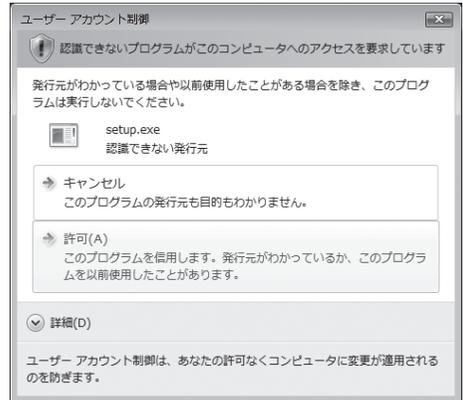
自動的にセットアッププログラムが起動された場合は、手順4へ進んでください。しばらく待っても起動しないときは、CD-ROM内のSetup.exeをダブルクリックしてください。



- ② 自動再生の画面で「setup.exeの実行」をクリックします。

自動再生の画面が表示されない場合は、CD-ROM内のSetup.exeをダブルクリックしてください。

- ③ ユーザーアカウント制御画面が表示されたときは、[許可] (Windows Vistaの場合)または [はい] (Windows 7/8/8.1/10の場合)をクリックします。



#### 4. 以降、画面の指示に従って操作します。

セットアップタイプ選択画面では、「e-Signage Pro」を選びます。

#### ! ご注意

[e-Signage Pro WEBサーバー版][e-Signage Pro WEBクライアント版]ではありません。セットアップタイプ選択画面ではご注意ください。



インストールが終わると、デスクトップにe-Signage Pro マネージャのショートカットアイコン(  )が作成されます。

e-Signage Pro マネージャからは、e-Signageの機能も含め、番組の作成や配信、管理などの作業を行うことができます。

また、配信スケジューラ(  )とe-Signage クライアントスケジューラ(  )が起動し、タスクトレイに表示されます。

#### ご参考

インストール時に、仮のライセンスコードを入力した場合は、2ヶ月間の試用となります。試用期間が終わるまでにライセンスコードを入手し、登録してください。  
e-Signage Pro マネージャの[ヘルプ] - [バージョン情報] - [登録]から登録します。

## ●e-Signage Proをアンインストールする

### ご参考

アンインストール後、再度e-Signage Proをインストールする場合、ライセンスコードを再度入手する必要があります。

1. パソコンを起動します。
2. すべてのアプリケーションソフトを終了します。
3. e-Signage セットアッププログラム(Setup.exe)を起動します。
  - Setup.exeをダブルクリックすると、セットアッププログラムが起動されます。
  - インストール中、セキュリティの警告画面(発行元は確認できませんでした。)が表示された場合は、[実行]をクリックしてください。

[e-Signage Pro CD-ROM]をお持ちの方は

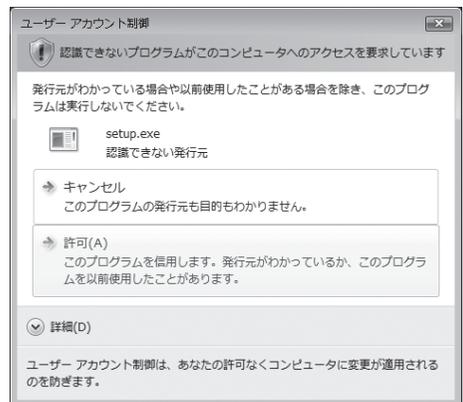
- ① [e-Signage Pro CD-ROM]をCD-ROMドライブにセットします。

自動的にセットアッププログラムが起動された場合は、手順4へ進んでください。しばらく待っても起動しないときは、CD-ROM内のSetup.exeをダブルクリックしてください。



- ② 自動再生の画面で「setup.exeの実行」をクリックします。

自動再生の画面が表示されない場合は、CD-ROM内のSetup.exeをダブルクリックしてください。



- ③ ユーザーアカウント制御画面が表示されたときは、[許可] (Windows Vistaの場合)または [はい] (Windows 7/8/8.1/10の場合)をクリックします。

4. 「削除」ラジオボタンを選び、[次へ]をクリックします。  
「変更」または「削除」ラジオボタンを選ぶ場合は、ライセンスコードを再入手する必要があります。



### 5. [はい]をクリックします。

アンインストールが始まります。



配信スケジューラやe-Signage クライアントスケジューラが起動している場合は、メッセージが表示されます。その場合は、[はい]をクリックしてください。配信スケジューラやe-Signage クライアントスケジューラを終了し、アンインストールを続けます。

### 6. [完了]をクリックします。

これで、アンインストールは完了です。



## e-Signage Pro マネージャの起動と終了

### ●e-Signage Pro マネージャを起動する

1. デスクトップの  ショートカットアイコンをダブルクリックします。

#### ご参考

Windowsタスクバーの[スタート] ボタンから[すべてのプログラム] - [SHARP e-Signage] - [e-Signage Pro マネージャ]の順にクリックしても、起動できます。

### ●e-Signage Pro マネージャを終了する

1. e-Signage Pro マネージャの  をクリックします。

## ●e-Signage Pro マネージャについて

※ はじめにe-Signageにて番組・タイムテーブル・スケジュールの作成、管理(配信)するパネルの設定が必要です。



### ①メニューバー

メニュー名		内容	参照ページ
ファイル	マネージャの終了	e-Signage Pro マネージャを終了します。	—
表示	すべてのパネルを選択	ディスプレイリストに表示されているすべてのパネルを選びます。	—
	最新の情報に更新	ディスプレイリストの内容を最新の情報に更新します。	—
	ランチャーバー	ランチャーバー(下記)の表示/非表示を切り換えます。	—
	ステータスバー	ステータスバー(10ページ)の表示/非表示を切り換えます。	—
ツール	番組の作成・編集	e-Signageの番組エディタで番組を作成します。	※1
	タイムテーブルの作成・編集	e-Signageのタイムテーブルエディタでタイムテーブルを作成します。	※1
	スケジュールの作成・編集	e-Signageのスケジュールエディタでスケジュールを作成します。	※1
	パネルの登録・編集	e-Signageの[パネル管理]ダイアログボックスで管理するパネルを設定します。 <sup>※2</sup>	※1
	動作環境の設定	e-Signage Pro マネージャの環境を設定します。	10ページ
ヘルプ	バージョン情報	e-Signage Proのバージョン情報を表示します。	—

※1 詳細は、e-Signageの取扱説明書をご覧ください。

※2 9ページの「ご参考」もご覧ください。

### ②ランチャーバー

番組作成・編集	e-Signageの番組エディタで番組を作成します。
タイムテーブル作成・編集	e-Signageのタイムテーブルエディタでタイムテーブルを作成します。
スケジュール作成・編集	e-Signageのスケジュールエディタでスケジュールを作成します。
パネル登録・編集	e-Signageの[パネル管理]ダイアログボックスで管理するパネルを設定します。

各々の詳細は、e-Signageの取扱説明書をご覧ください。

## ご参考

## [パネル管理]ダイアログボックスのe-Signageからの変更点について

- e-Signage Proをインストールすると、管理できるパネルが最大1000台になります。  
(実際に管理できるパネルの数は、お持ちのe-Signageビューア版のライセンス数までです。)
- e-Signage Proをインストールすると、[パネル管理]ダイアログボックスからパネルを手動制御することはできません。パネルの手動制御は、[状態監視・制御]で行います。(29ページ)
- [パネル(パネルPC)の追加]および[パネル(パネルPC)の編集]ダイアログボックスに時計合わせ機能が追加されます。  
「指定した時刻にサーバとパネルPCの時計を同期する」チェックボックスをチェックすると、「同期時刻」で指定した時刻に表示用端末の時計を管理用PCの時刻に合わせることができます。

## ③機能切替ボタン

ボタン名	内容	参照ページ
配信予約	スケジュールをパネルに割り付け、番組の配信を予約します。	16ページ
配信状況	スケジュールの配信状況を確認することができます。	20ページ
パネル側データ確認	パネルに配信されたスケジュールを確認することができます。	21ページ
状態監視・制御	パネルの状態を表示したり、PC電源などを制御します。	29ページ
基本情報	パネルの基本情報を表示します。	33ページ
臨時番組*	臨時に番組を配信することができます。	23ページ
緊急テロップ*	臨時にテロップを配信することができます。	26ページ
システム更新*	システム更新では、表示用端末のe-Signageビューア版のアップデートや、表示用端末の設定変更などを行うことができます。 (将来のアップデートをお約束するものではありません。)	34ページ

※ 初期設定では表示されていません。動作環境設定で表示させることができます。(11ページ)

## ④ツールバー

ディスプレイリストの表示や選んでいるパネルを操作するためのボタン(アイコン)です。

## ⑤グループツリー

登録されているパネルのグループが表示されます。

## ⑥フィルタバー

条件を指定して、その条件を満たしたパネルのみをディスプレイリストに表示することができます。

フィルタの選択 ▼ をクリックすると、次のメニューが表示されます。

メニュー名	内容
(選択なし)	フィルタが選ばれていない状態です。 フィルタを作成していない場合は、「(選択できるフィルタはありません)」と表示されます。
<フィルタ名>	フィルタを作成すると、フィルタ名が表示されます。 フィルタを選ぶと、その条件に合ったパネルのみがディスプレイリストに表示されます。選んだフィルタにはチェックマークが付きます。
フィルタの新規作成	フィルタを新規に作成します。(10ページ)
現在のフィルタを編集	選んでいるフィルタを編集します。
現在のフィルタを削除	選んでいるフィルタを削除します。

フィルタを選ぶと、[フィルタ名]、[フィルタ条件]が表示されます。

### ⑦ ディスプレイリスト

パネルの情報を表示します。表示される内容は、機能切換ボタンにより異なります。グループツリーやフィルタバーで表示されるパネルを絞り込むことができます。

表示用端末がAndroid端末の場合は、が表示されます。

### ⑧ ステータスバー

選んだパネル名やスケジュール名、ディスプレイリスト内のパネル数と選んだパネル数などが表示されます。

エラーの原因など、ディスプレイリストの項目内に表示が収まらない場合、項目をクリックするとその内容が表示されます。

## ● フィルタを設定する

ディスプレイリストに表示させるパネルの条件を設定します。

1.  をクリックし、[フィルタの新規作成] をクリックします。

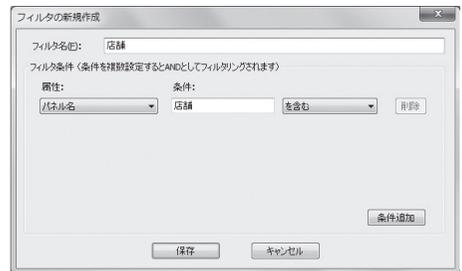
[フィルタの新規作成] ダイアログボックスが表示されます。

2. 「フィルタ名」を入力します。(全角50文字以内)

3. 「属性」を選びます。

4. 「条件」を設定します。

- 選んだ属性により設定できる条件が異なります。
- 「属性」が「パネル名」、「ホスト名」、「コメント1～3」の場合条件を入力します(全角25文字以内)。次に入力した文字を含むか含まないかを選びます。
- 「属性」が「ネットワーク応答確認」、「配信状況(\*\*)」の場合(\*\*はスケジュール、番組、テロップ、システム更新)リストから条件を選びます。
- さらに条件を設定する場合は、[条件追加] をクリックし、手順3から操作します。すべての条件を満たすパネルのみがディスプレイリストに表示されます。
- 追加した条件を削除する場合は、[削除] をクリックします。



5. [保存] をクリックします。

フィルタがメニューに保存され、条件を満たしたパネルのみがディスプレイリストに表示されます。

## 動作環境設定

### ● 配信方法について

本ソフトウェアでは、以下の配信方法を選ぶことができます。

	配信方法	通信プロトコル	管理用PC	表示用端末
1	PUSH型配信 (固定IPアドレス)	FTP	FTPクライアント	FTPサーバ
2	PUSH型配信 (ビューアID使用)	FTP HTTP	FTPクライアント HTTPサーバ	FTPサーバ HTTPクライアント
3	PULL型配信	HTTP	HTTPサーバ	HTTPクライアント

## PUSH型配信(固定IPアドレス)

管理用PC側からFTPで配信データを提供します。表示用端末に固定IPアドレスが必要です。

表示用端末がファイアウォールの中にあるときは、配信データが通信できるように、ファイアウォールの設定が必要です。

## PUSH型配信(ビューアID使用)

管理用PC側からFTPで配信データを提供します。表示用端末側がHTTPプロトコルを使って、定期的にIPアドレスを通知するため、固定IPアドレスは、不要です。

表示用端末がファイアウォールの中にあるときは、配信データが通信できるように、ファイアウォールの設定が必要です。

## PULL型配信

表示用端末側が管理用PC側からHTTPプロトコルを使って、定期的に配信データを取得します。表示用端末がファイアウォールの中にあるときでも、ファイアウォール側の設定を変更しないで、配信データを取得できます。

### ご参考

- ・「PUSH型配信(ビューアID使用)」、または「PULL型配信」を使用する場合は、簡易WEBサーバを起動してください。
- ・簡易WEBサーバは、[動作環境の設定]ダイアログボックスの[簡易WEBサーバ設定]タブの[手動で簡易WEBサーバを起動]をクリックして起動します。
- ・「PCの起動時間に自動的に簡易Webサーバを起動する」にチェックを入れておくことで、PC起動時に自動的に簡易Webサーバを起動することができます。
- ・PULL型配信では短期間に管理用PCへのアクセスが集中すると、管理用PCの性能やネットワーク帯域によって全ての処理を正常に完了できない場合があります。  
アクセスが分散するよう表示用端末の設定を調整し、事前に十分なテストを行ってください。

## ●動作環境を設定する

1. [ツール]メニューから[動作環境の設定]をクリックします。

[動作環境の設定]ダイアログボックスが表示されます。

2. 各項目を設定します。

### 【一般】タブ

- ・機能切替ボタンの表示

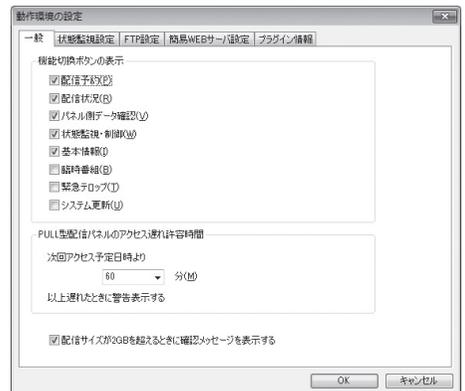
機能切替ボタンの表示/非表示を設定します。

チェックした機能切替ボタンが表示されます。

- ・PULL型配信パネルのアクセス遅れ許容時間

PULL型配信を選んだとき本来のアクセス予定時刻から一定時間以上アクセスがなかった場合に警告を表示するかを設定できます。

- ・配信データのサイズが2GBを超えるときに確認メッセージを表示させる場合はチェックを入れてください。



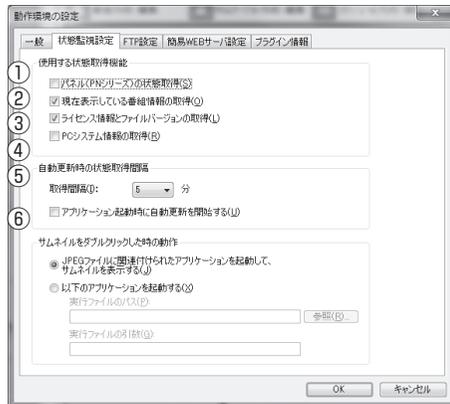
### ご参考

- ・Windows PCに配信するとき、配信データが2GBを超える場合は管理用PCおよび表示用端末をバージョン4.3以降にする必要があります。

### [状態監視設定]タブ

状態監視・制御(29ページ)に関する設定を行います。

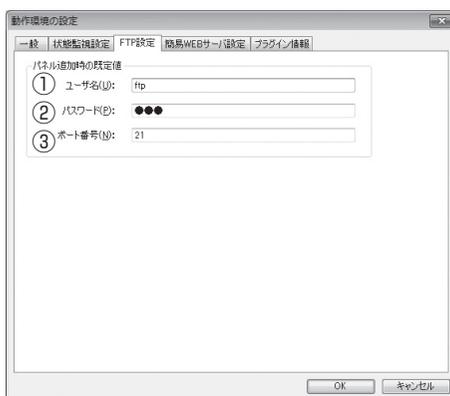
- ①「パネル(PNシリーズ)の状態取得」チェックボックス  
チェックすると、表示用端末からパネルの情報を取得します。
- ②「現在表示している番組情報の取得」チェックボックス  
チェックすると、表示用端末から現在表示している番組の情報を取得します。
- ③「ライセンス情報とファイルバージョンの取得」  
チェックボックス  
チェックすると、ライセンスコードとe-Signage  
ビューア版のファイルバージョンを取得します。
- ④「PCシステム情報の取得」チェックボックス  
チェックすると、表示用端末からシステム情報を取得します。
- ⑤自動更新時の状態取得間隔  
「取得間隔」で自動更新時に状態取得する間隔を選びます。  
「アプリケーション起動時に自動更新を開始する」チェックボックス  
チェックすると、起動時に自動更新を開始します。  
PULL型配信では、この設定値は無視されます。自動更新時には表示用端末からのアクセス毎に  
状態が通知されます。
- ⑥サムネイルをダブルクリックした時の動作  
サムネイルをダブルクリックしたときに起動するアプリケーションソフトを設定します。  
「以下のアプリケーションを起動する」を選んだ場合は、指定した「実行ファイルのパス」のEXE  
ファイルを実行します。「実行ファイルの引数」に下記の引数を指定することもできます。
  - ・%I : 選んだパネルのホスト名またはIPアドレスに変換する予約語
  - ・%T : サムネイルファイルパスに変換する予約語



### [FTP設定]タブ

パネル追加時に設定するFTP設定の内容をあらかじめ設定しておくことができます。

- ① ユーザ名(半角英数字30文字以内)
  - ② パスワード(半角英数字30文字以内)
  - ③ ポート番号(1 ~ 32000)
- ・初期設定では次の値に設定されています。  
ユーザ名: ftp、パスワード: ftp、ポート番号: 21  
セキュリティ上の問題がある場合は、値を変更してください。
  - ・Androidビューア版をインストールした場合、デフォルトのTCP/IPポート番号は2121になっています。パネルの追加・編集時に変更が必要です。



## [簡易WEBサーバ設定]タブ

- ① [PCの起動時に自動的に簡易WEBサーバを起動する]チェックボックス

PUSH型配信(動的IPアドレス)やPULL型配信を使用するときは、チェックして管理用PC側で簡易WEBサーバを起動するように設定します。

- ② HTTP通信設定

ユーザ名、パスワード、ポート番号を設定します。表示用端末から接続できないときは、ファイアウォールを管理しているネットワーク管理者に設定内容を確認してください。

- ユーザ名(半角英数字30文字以内)
- パスワード(半角英数字30文字以内)
- ポート番号(1 ~ 65535)

- ③ 初期設定では次の値に設定されています。

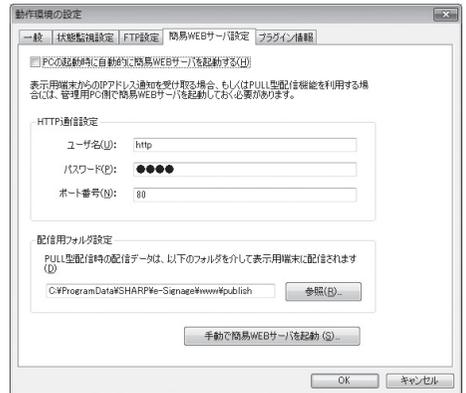
ポート番号 : 80  
 ユーザー名 : http  
 パスワード : http

- ④ 配信用フォルダ設定

PULL型配信を使用するときに、配信データを保管するフォルダを設定します。[参照]をクリックすると、フォルダを変更できます。

- ④ [手動で簡易WEBサーバを起動]

クリックすると、簡易WEBサーバをすぐに起動できます。PUSH型配信(動的IPアドレス)やPULL型配信を使用するときは、クリックして簡易WEBサーバを起動します。

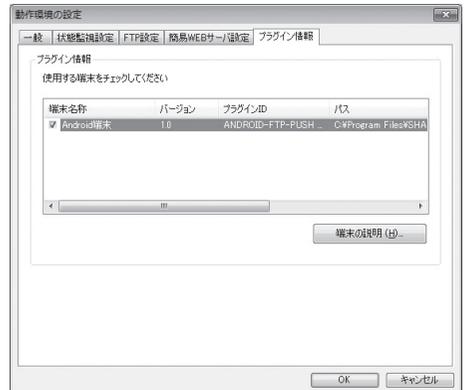


## [プラグイン情報]タブ

- Android端末へ配信するときは、Androidプラグインの設定が必要です。

プラグインを有効にするには、「Android端末」のチェックボックスのチェックを入れてください。

3. [OK]をクリックします。



## パーソナルファイアウォールの設定

- ネットワーク経由で配信する場合で、使用するポートにパーソナルファイアウォールを設定しているときは、e-Signage が使用するTCP/IP ポートを開放しておいてください。
- なお、Windows のコントロールパネルの「Windows ファイアウォール」でこのポート番号を例外指定して接続を許可することもできますが、代わりに「Windows ファイアウォール」で実行ファイル"C:\Program files\sharp\e-Signage\www\w3d.exe" を例外プログラムに指定して接続を許可することも可能です。

## ●簡易WEBサーバを起動する

1. [ツール]メニューから[動作環境の設定]をクリックします。  
[動作環境の設定]ダイアログボックスが表示されます。
2. [簡易WEBサーバ設定]タブをクリックします。
3. [手動で簡易WEBサーバを起動]をクリックします。  
簡易WEBサーバが起動します。
4. [PCの起動時に自動的に簡易WEBサーバを起動する]にチェックします。  
管理用PCを起動したときに、簡易WEBサーバも起動します。
5. [OK]をクリックします。

## ●パネル(表示用端末)を追加する

1. [ツール]メニューから[パネルの登録・編集]をクリックします。  
[パネル管理]ダイアログボックスが表示されます。
2. [パネルの追加]をクリックします。  
追加する表示用端末がWindows PCの場合は[Windows PC]、Android端末の場合は[Android 端末]をクリックします。  
Windows PCの場合：[パネル(Windows PC)の追加]ダイアログボックスが表示されます。  
Android端末の場合：[パネル(Android端末)の追加]ダイアログボックスが表示されます。
3. 各項目を設定します。

- ① パネル名(必須)  
パネル名に識別しやすい名前を付けてください。  
(全角25文字以内)
- ② グループ  
登録されているグループの中からパネルを追加するグループを選択します。  
どのグループにも属さない場合は、「なし」を選択してください。どのグループにも属さないパネルは、「すべてのパネル」の下に追加されます。
- ③ ホスト名またはIPアドレス(必須)
  - PUSH型配信[固定IPアドレス]の場合、サーバからアクセス可能な表示用端末のホスト名またはIPアドレスを設定します。
  - PUSH型配信[動的IPアドレス]・PULL型配信の場合、「@」で始まるビューアID(半角英数字)を設定します。

パネル (Windows PC) の追加

パネル名(A): 新規パネル1

グループ(G): (グループ)

ホスト名またはIPアドレス(I):

MACアドレス(M): - - - - -

(管理用PCから表示用端末の電源をONする場合に必要です。)

配信方式:

PUSH型配信(B)  表示用端末から通知されたIPアドレスに配信する(D)

PULL型配信(B)

電源管理

指定した時刻に管理用PCから表示用端末の電源ON/OFFを指示する(B)

起動時刻(S): 00 : 00 終了時刻(E): 00 : 00

時計合わせ

指定した時刻に管理用PCと表示用端末の時計を同期する(D)

同期時刻(C): 00 : 00

コメント

コメント1:

コメント2:

コメント3:

## ④ MACアドレス

管理用PCから表示用端末の電源をONする場合は、表示用端末のMACアドレスを入力します。  
Android端末の場合は、入力しても使用されません。

## ⑤ 配信方式

表示用端末へデータを送る場合は「PUSH型配信」ラジオボタンを選択します。表示用端末が、管理用PCから定期的にデータを取得する場合は「PULL型配信」ラジオボタンを選択します。

PUSH型配信で、表示用端末が固定のIPアドレスを持たない場合は、「表示用端末から通知されたIPアドレスに配信する」をチェックしてください。

## ⑥ 電源管理

指定した時刻に表示用端末の電源をON/OFFしたい場合は、「指定した時刻に管理用PCから表示用端末の電源ON/OFFを指示する」ラジオボタンを選択し、「起動時刻」と「終了時刻」を設定します。(5分単位)

## ⑦ 時計合わせ

管理用PCと表示用端末の時刻を合わせたい場合は、[指定した時刻に管理用PCと表示用端末の時計を同期する]をチェックし、同期時刻を設定します。(5分単位)

## ⑧ コメント

表示用端末のコメントを入力します。

## 4. [追加]をクリックします。

## ご参考

- 同じホスト名、IPアドレス、ビューアIDのパネルを2つ以上作成することはできません。
- 表示用端末がAndroid端末の場合は、電源管理および時計合わせはできません。

## ●承認待ちパネル(表示用端末)を登録する

PUSH型配信(動的IPアドレス)、PULL型配信のパネルでは、表示用端末から送信された設定情報を元にパネルを登録(承認)することができます。

表示用端末での設定情報の送信は、e-Signageクライアントスケジューラの設定ダイアログボックスの[ネットワーク]タブで行います。(e-Signageの取扱説明書参照)

## 1. [ツール]メニューから[パネルの登録・編集]をクリックします。

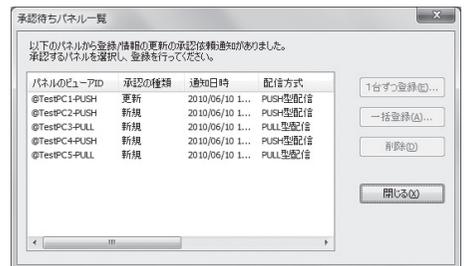
[パネル管理]ダイアログボックスが表示されます。

## 2. [承認待ちパネル一覧]をクリックします。

[承認待ちパネル一覧]ダイアログボックスが表示されます。

## 3. パネルを登録します。

- [1台ずつ登録]をクリックした場合、選択されている各パネルに対して1台ずつ順にパネルの追加ダイアログが表示され、内容の確認を行いながらパネル登録を行うことができます。
- [一括登録]をクリックした場合、選択されたグループに新規のパネルが一括で登録されます。

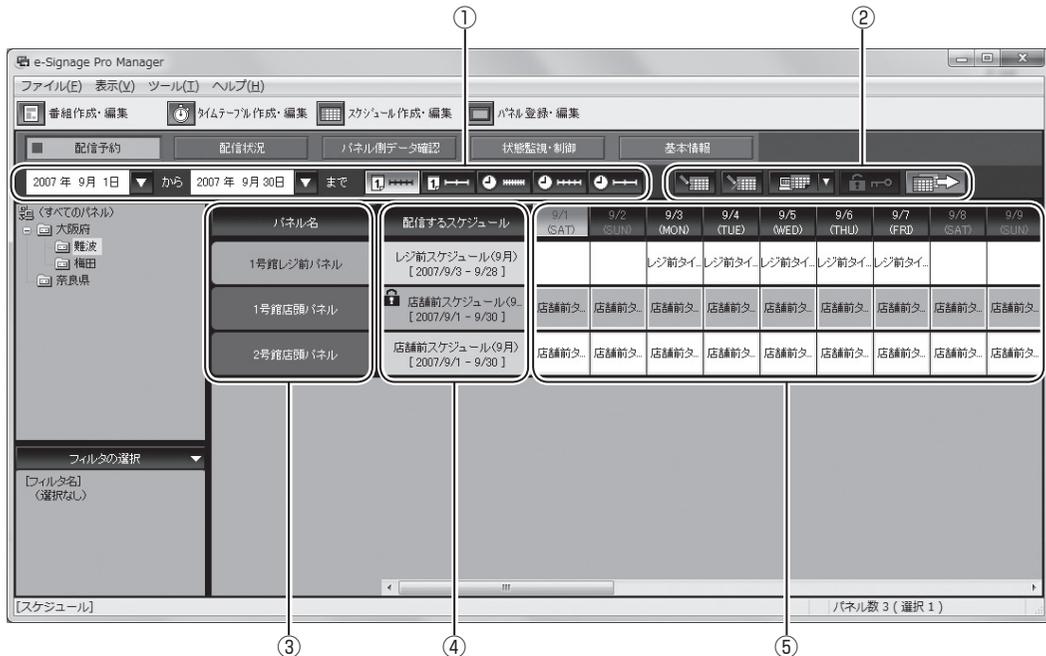


## 配信予約

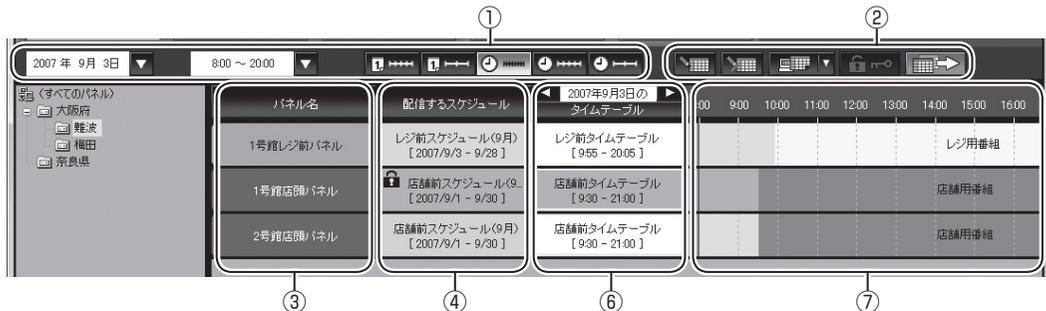
スケジュールを各パネルに割り付けて、番組配信を予約します。  
スケジュールはe-Signageのスケジュールエディタで作成します。

ディスプレイリストには、パネルとそのパネルに割り付けられているスケジュールが表示されます。  
日単位に設定されているタイムテーブル名が表示されます。(日単位表示)  
表示ツールバーのアイコンにより、その日のタイムテーブルを表示させることができます。(時間単位表示)

### 日単位表示



### 時間単位表示



### ご参考

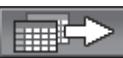
配信予約では、これから配信するスケジュールを設定します。確定の操作をするまで、スケジュールはパネルに配信されません。そのため、配信予約での表示は、現在のパネルのスケジュールとは異なります。現在のパネルのスケジュールは、[パネル側データ確認]で確認します。  
また、e-Signage Proでは、過去のスケジュールを確認することはできません。

### ① 表示ツールバー

<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">                 2007年 9月 1日 ▼ から             </div>	日単位で表示するとき、ディスプレイリストに表示する日(開始日と終了日)を指定します。 クリックして表示されるダイアログボックスから開始日(終了日)をクリックしてください。 最大62日間表示することができます。
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">                 2007年 9月 30日 ▼ まで             </div>	
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">                 2007年 9月 3日 ▼             </div>	時間単位で表示するとき、ディスプレイリストに表示する日を指定します。 クリックして表示されるダイアログボックスから表示する日をクリックしてください。
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">                 8:00 ~ 20:00 ▼             </div>	時間単位で表示するとき、ディスプレイリストに表示する時刻(開始時刻と終了時刻)を指定します。 クリックして表示されるダイアログボックスで開始時刻と終了時刻を設定し、[OK]をクリックします。

	ディスプレイリストを日単位で表示します。 項目(1日)の表示幅を変えることができます。
	
	
	ディスプレイリストを時間単位で表示します。 時間の表示幅を変えることができます。
	

### ② 操作ツールバー

	パネルにスケジュールを割り付けます。 スケジュールを割り付けるパネルを選び、このアイコンをクリックします。(18ページ)
	スケジュールを割り付ける前の状態に戻します。 割り付け前の状態に戻したいパネルを選び、このアイコンをクリックします。
	ディスプレイリストに表示されているパネルに割り付けられたスケジュールをXML・HTMLに関連付けられたアプリケーション(通常はMicrosoft Internet Explorer)で表示します。 アプリケーションで印刷が可能な場合、スケジュールの印刷が可能となります。 クリックして表示されるメニューでXMLかHTMLを選んでください。
	パネルに割り付けられ確定したスケジュールの確定を解除します。 確定を解除するパネルを選び、このアイコンをクリックします。
	スケジュールを確定し、配信を予約します。 スケジュールを確定するパネルを選び、このアイコンをクリックします。(19ページ)

#### ご参考

配信待ち・配信中のスケジュールを解除するときは、[配信状況]でキャンセルしてください。(20ページ)

### ③ パネル名

パネル名が表示されます。  
 グループツリーやフィルタで表示するパネルを絞り込むことができます。  
 ヘッダ部をクリックすると、パネル名の昇順/降順で並び換えることができます。

#### ④ スケジュールリスト

パネルに割り付けられているスケジュールの情報が表示されます。

スケジュールリストをダブルクリックすると、e-Signageのスケジュールエディタでスケジュールを編集することができます。スケジュールが割り付けられていない場合は、スケジュールを割り付けることができます。

ヘッダ部分をクリックすると、スケジュール名の昇順/降順で並び換えることができます。

右クリックで表示されるメニューで各種操作を行うことができます。

#### ⑤ カレンダー(日単位表示)

日ごとに設定されているタイムテーブルの情報が表示されます。

タイムテーブルをダブルクリックすると、e-Signageのタイムテーブルエディタでタイムテーブルを編集することができます。(右クリックで表示されるメニューからも編集できます。)

ヘッダ部をダブルクリックすると、その日の時間単位表示になります。

#### ⑥ タイムテーブルリスト(時間単位表示)

対象日に設定されているタイムテーブルの情報が表示されます。

 /  で対象日を変更することができます。

タイムテーブルをダブルクリックすると、e-Signageのタイムテーブルエディタでタイムテーブルを編集することができます。(右クリックで表示されるメニューからも編集できます。)

ヘッダ部分をクリックすると、タイムテーブル名の昇順/降順で並び換えることができます。

#### ⑦ タイムテーブル(時間単位表示)

対象日に設定されているタイムテーブルが表示されます。

番組をクリックすると番組のサムネイルを見ることができます。ダブルクリックするとe-Signageの番組エディタで番組を編集することができます。(右クリックで表示されるメニューからも操作できます。)

### ご参考

- 配信が確定すると、タイムテーブルや番組の編集はできません。編集する場合は、確定を解除してください。(配信待ち、配信中の場合は、[配信状況]でキャンセルしてください。(20ページ))
- 確定を解除すると、配信状況の表示も消えます。

## ●スケジュールを配信する

1. 機能切替ボタンの  をクリックします。
2. ディスプレイリストにスケジュールを割り付けるパネルを表示させます。
  - グループツリーでグループに登録されているパネルのみを表示させることができます。
  - フィルタを指定して、条件に合ったパネルのみを表示させることができます。(10ページ)
3. スケジュールをパネルに割り付けます。

- ① スケジュールを割り付けるパネルを選びます。

複数のパネルを選ぶときは、**[Shift]** キーまたは **[Ctrl]** キーを押しながらクリックします。

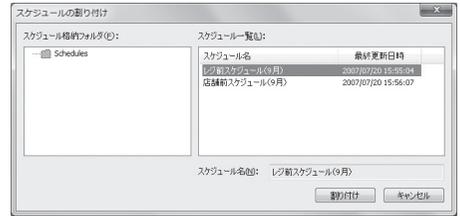
- ②  をクリックします。

[スケジュールの割り付け] ダイアログボックスが表示されます。



パネル名	配信するスケジュール	配信状況	配信						
1号機(1号機)パネル	配信予約なし								
2号機(2号機)パネル	配信予約なし								
3号機(3号機)パネル	配信予約なし								

- ③ スケジュールデータを選び、[割り付け]をクリックします。  
スケジュールが割り付けられます。



#### 4. スケジュールを確定します。

- ① スケジュールを確定するパネルを選びます。  
複数のパネルを選ぶときは、【Shift】キーまたは【Ctrl】キーを押しながらクリックします。
- ②  をクリックします。  
[配信日時とオプションの選択] ダイアログボックスが表示されます。

- ③ 「配信日時」を選びます。

- 「今すぐ配信する」ラジオボタン  
PUSH型配信のときは、⑦終了後、スケジュールを配信します。PULL型配信では選択できません。
- 「指定日時に配信する」ラジオボタン  
設定した日時にスケジュールを配信します。PULL型配信では、指定日時以降に表示用端末からのアクセスがあった時点で配信が開始されます。

- ④ 「配信オプション」を設定します。

- 「配信開始前に表示用端末の電源をONする」チェックボックス  
表示用端末が起動していないとき、表示用端末の電源を入れた後でスケジュールを配信します。PULL型配信では選択できません。
- 「配信終了後に表示用端末の電源をOFFする」チェックボックス

スケジュールの配信を終了した後で、表示用端末の電源を切ります。  
表示用端末がAndroid端末の場合は、電源のON/OFFはできません。

- ⑤ 配信済のコンテンツを表示用端末に配信するかどうか設定します。  
「配信済コンテンツとの差分データだけを配信する」にチェックすると、未配信コンテンツ(ファイル名、ファイル作成日時、データサイズ等が異なるデータ)のみを配信し、配信済コンテンツは配信しません。表示用端末がAndroid端末の場合は、差分データの配信はできません。
- ⑥ 配信先のパソコンにすでにスケジュールがあり、配信するスケジュールを追加する場合は、「配信先パネルで実行しているスケジュールの上にこのスケジュールを追加する」チェックボックスをチェックします。  
チェックしていない場合は、配信先のパソコンのスケジュールは、配信するスケジュールに置き換わります。



- ⑦ [OK] をクリックします。  
スケジュールが確定します。  
確定したスケジュールには確定マーク(🔒)が表示されます。

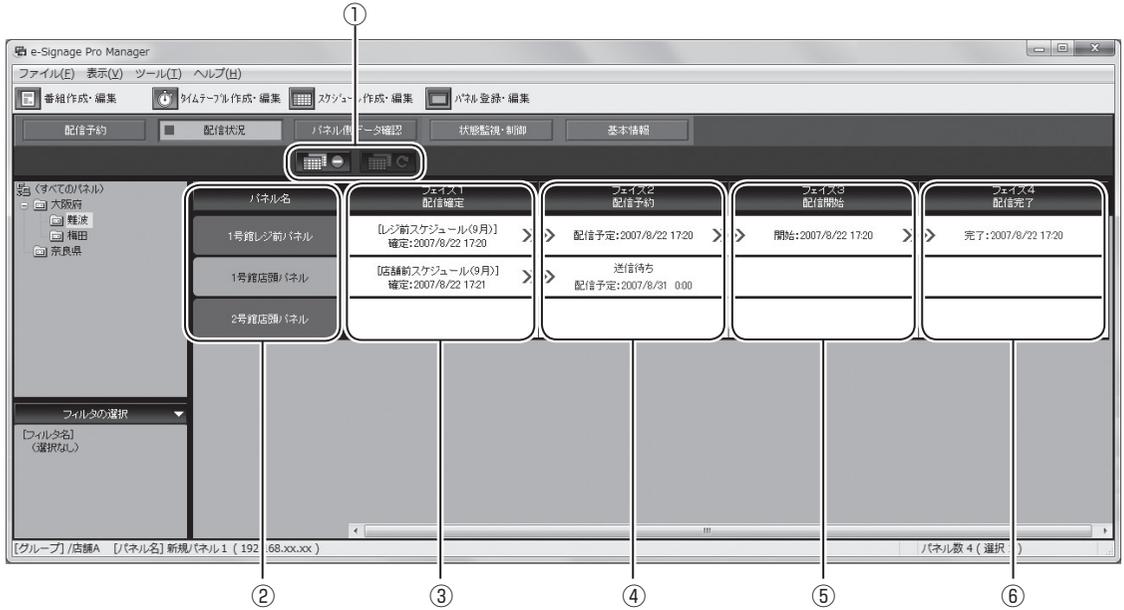


#### ご参考

- 配信が正しく行われたかどうか、[配信状況]で確認してください。(20ページ)
- 配信が確定すると、タイムテーブルおよび番組の編集ができません。編集する場合は、配信の確定を解除してください。(配信待ち・配信中の場合は、[配信状況]でキャンセルしてください。)(20ページ))
- スケジュールや番組の配信には時間がかかります。また、複数パネルに同時配信でも、実際は順番に配信されます。そのため、スケジュールや番組の配信には、時間差が発生します。
- 新しいスケジュールを配信すると、古いスケジュールは不要になります。不要になったスケジュールやそれに付随するコンテンツは、e-Signage クライアントスケジューラが次回起動するときに自動的に削除されます。
- 過去のスケジュールデータは配信されません。本日以降のスケジュールデータが配信されます。

## 配信状況

スケジュールの配信状況を確認することができます。



### ① 操作ツールバー

	配信が完了していないスケジュールの配信を中止し、確定を解除します。 配信を中止するパネルを選び、このアイコンをクリックします。
	配信エラーとなったスケジュールを送信し直します。 再送信するパネルを選び、このアイコンをクリックします。

### ② パネル名

パネル名が表示されます。  
グループツリーやフィルタで表示するパネルを絞り込むことができます。  
ヘッダ部をクリックすると、パネル名の昇順/降順で並び換えることができます。

### ③ 配信確定

割り付けられたスケジュール名と配信が確定した日時が表示されます。  
ヘッダ部をクリックすると、日時の昇順/降順で並び換えることができます。

### ④ 配信予約

配信が予約されている日時が表示されます。  
ヘッダ部をクリックすると、日時の昇順/降順で並び換えることができます。

### ⑤ 配信開始

配信を開始した日時が表示されます。  
ヘッダ部をクリックすると、日時の昇順/降順で並び換えることができます。

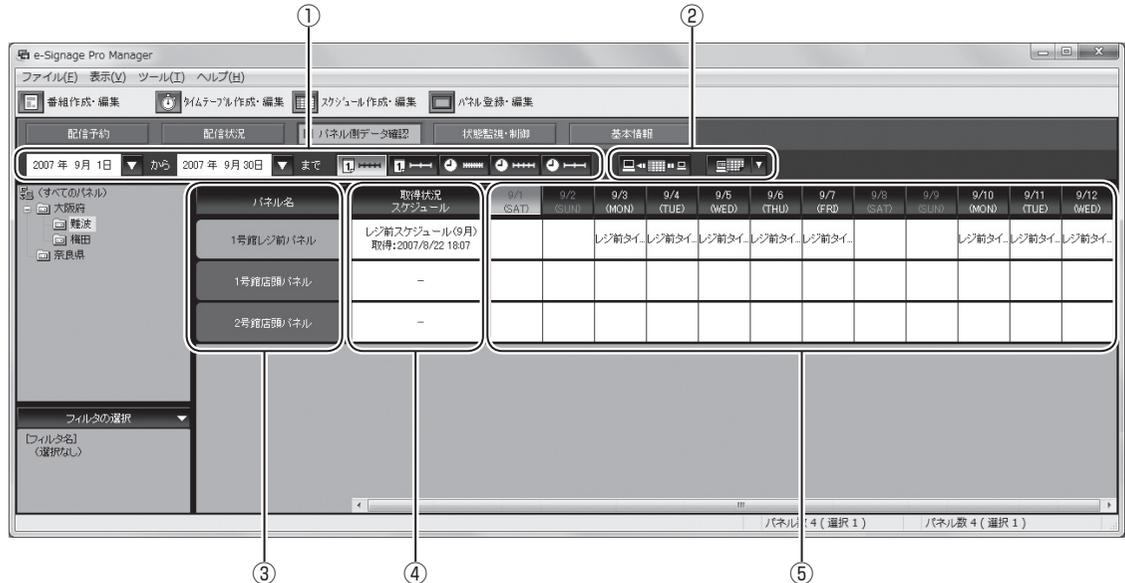
### ⑥ 配信完了

配信が完了した日時が表示されます。  
配信が正しく行われなかった場合は、その理由が表示されます。  
ヘッダ部をクリックすると、日時の昇順/降順で並び換えることができます。

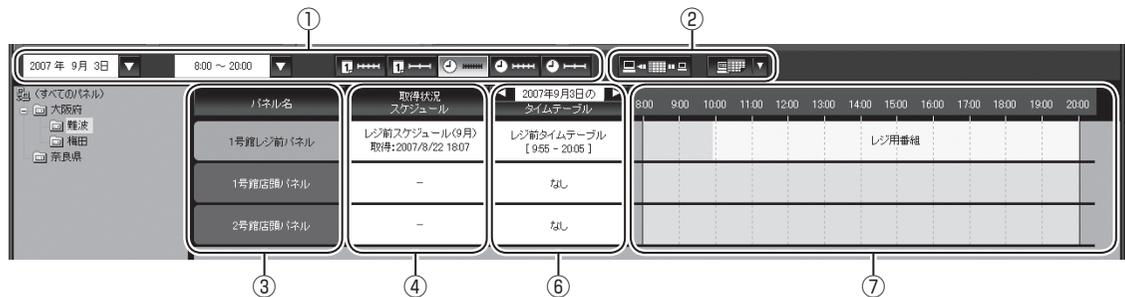
## パネル側データ確認

パネルに配信されたスケジュールを確認することができます。  
配信予約と同様に、日単位/時間単位で表示することができます。

### 日単位表示



### 時間単位表示



#### ① 表示ツールバー

詳細は17ページを参照してください。

#### ② 操作ツールバー

	<p>パネルに配信されたスケジュールの情報を取得します。 情報を取得したいパネルを選び、このアイコンをクリックします。 PULL型配信では、操作後に表示用端末からアクセスがあったタイミングでデータの取得が行われます。</p>
	<p>取得したスケジュール情報をXML・HTMLに関連付けられたアプリケーション(通常はMicrosoft Internet Explorer)で表示します。 アプリケーションで印刷が可能な場合、スケジュールの印刷が可能となります。クリックして表示されるメニューでXMLかHTMLを選んでください。</p>

### ③ パネル名

パネル名が表示されます。

グループツリーやフィルタで表示するパネルを絞り込むことができます。

ヘッダ部をクリックすると、パネル名の昇順/降順で並び換えることができます。

### ④ 取得状況

取得したスケジュール名と取得が完了した日時が表示されます。

右クリックで表示されるメニューからスケジュールを取得することができます。

### ⑤ カレンダー(日単位表示)

日ごとにタイムテーブルの情報が表示されます。

ヘッダ部をダブルクリックすると、その日の時間単位表示になります。

### ⑥ タイムテーブルリスト(時間単位表示)

対象日に設定されているタイムテーブルの情報が表示されます。

 /  で対象日を変更することができます。

ヘッダ部分をクリックすると、タイムテーブル名の昇順/降順で並び換えることができます。

### ⑦ タイムテーブル(時間単位表示)

対象日に設定されているタイムテーブルが表示されます。

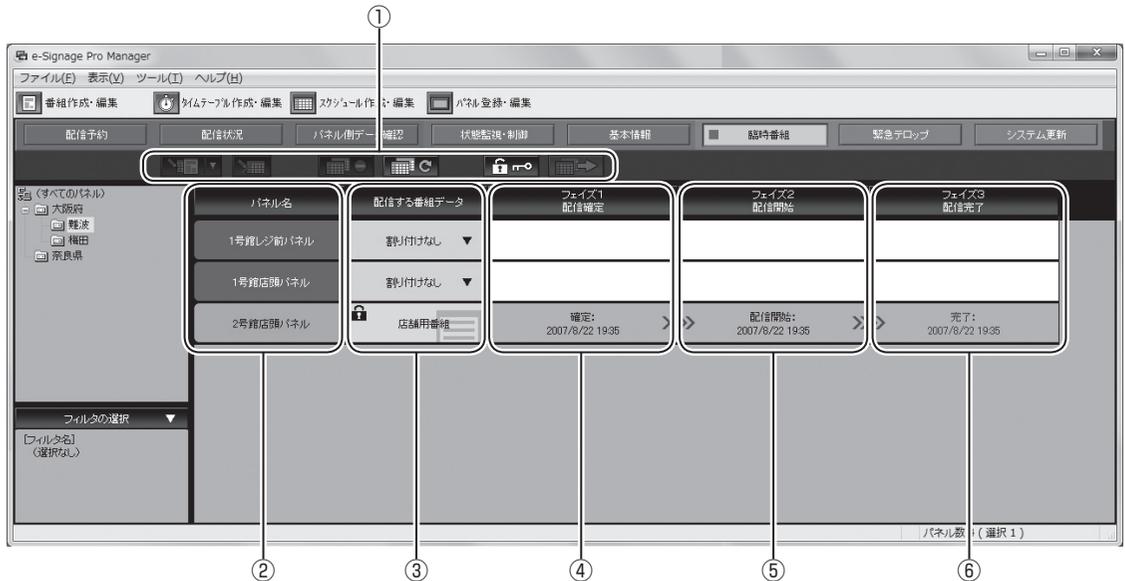
番組をクリックすると番組のサムネイルを見ることができます。

# 緊急配信

## 臨時番組

臨時に番組を配信することができます。  
また、その配信状況を確認することができます。  
番組停止コマンドを配信し、臨時番組を途中で止めることもできます。  
表示用端末がAndroid端末の場合は、臨時番組の配信はできません。

※ 動作環境設定で **臨時番組** が表示されるよう設定してください。(11ページ)



### ① 操作ツールバー

	パネルに臨時に配信する番組(番組停止コマンド)を割り付けます。 配信するパネルを選び、このアイコンをクリックします。(24ページ)
	番組(番組停止コマンド)を割り付ける前の状態に戻します。 割り付け前の状態に戻したいパネルを選び、このアイコンをクリックします。
	配信が完了していない番組(番組停止コマンド)の配信を中止し、確定を解除します。 配信を中止するパネルを選び、このアイコンをクリックします。
	配信エラーとなった番組(番組停止コマンド)を送信し直します。 再送信するパネルを選び、このアイコンをクリックします。
	パネルに割り付けられ確定した番組(番組停止コマンド)の確定を解除します。 確定を解除するパネルを選び、このアイコンをクリックします。
	番組(番組停止コマンド)の割り付けを確定し、配信を予約します。 確定させるパネルを選び、このアイコンをクリックします。(25ページ)

### ② パネル名

パネル名が表示されます。  
グループツリーやフィルタで表示するパネルを絞り込むことができます。  
ヘッダ部をクリックすると、パネル名の昇順/降順で並び換えることができます。

### ③ 臨時番組リスト

パネルに割り付けられている番組名が表示されます。

割り付けられている番組をダブルクリックすると、e-Signageの番組エディタで番組を編集することができます。番組が割り付けられていない場合は、番組または番組停止コマンドを割り付けることができます。

ヘッダ部分をクリックすると、番組名の昇順/降順で並び換えることができます。

右クリックで表示されるメニューから各種操作を行うことができます。

### ④ 配信確定

配信を確定した日時が表示されます。

ヘッダ部をクリックすると、日時の昇順/降順で並び換えることができます。

### ⑤ 配信開始

配信を開始した日時が表示されます。

ヘッダ部をクリックすると、日時の昇順/降順で並び換えることができます。

### ⑥ 配信完了

配信が完了した日時が表示されます。

配信が正しく行われなかった場合は、その理由が表示されます。

ヘッダ部をクリックすると、日時の昇順/降順で並び換えることができます。

## ご参考

- 番組停止コマンドをダブルクリックしても編集することはできません。
- 配信が確定すると、番組の編集はできません。編集する場合は、確定を解除してください。

## ● 臨時番組や番組停止コマンドを配信する

1. 機能切替ボタンの **臨時番組** をクリックします。

**臨時番組**

**臨時番組**

が表示されていない場合は、動作環境設定の設定を変更してください。(11ページ)

2. ディスプレイリストに番組を割り付けるパネルを表示させます。

- グループツリーでグループに登録されているパネルのみを表示させることができます。
- フィルタを指定して、条件に合ったパネルのみを表示させることができます。(10ページ)

3. 番組(番組停止コマンド)をパネルに割り付けます。

- ① 番組(番組停止コマンド)を割り付けるパネルを選びます。

複数のパネルを選ぶときは、【Shift】キーまたは【Ctrl】キーを押しながらクリックします。

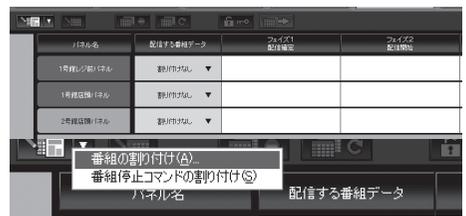
- ②  をクリックします。

臨時番組の場合：

- ③ [番組の割り付け] をクリックします。  
[番組の割り付け] ダイアログボックスが表示されます。
- ④ 番組データを選び、[割り付け] をクリックします。  
番組が割り付けられます。

番組停止コマンドの場合：

- ③ [番組停止コマンドの割り付け] をクリックします。  
番組停止コマンドが割り付けられます。



#### 4. 番組の配信を確定します。

- ① 配信を確定するパネルを選びます。  
複数のパネルを選ぶときは、【Shift】キーまたは【Ctrl】キーを押しながらクリックします。

- ②  をクリックします。

[臨時番組の表示時刻と表示時間の指定] ダイアログボックスが表示されます。

- 番組停止コマンドのみを配信する場合は、ダイアログボックスは表示されず、メッセージが表示されます。[はい]をクリックすると番組停止コマンドの配信が確定します。
- 臨時番組と番組停止コマンドの配信が混在しているときは、ダイアログボックスが表示されます。設定は臨時番組に対して有効です。

- ③ 「臨時番組の表示時刻」を選びます。

- 「配信終了後、すぐに臨時番組の表示を開始する」ラジオボタン  
配信終了後、すぐに番組を表示します。
- 「指定時刻に臨時番組の表示を開始する」ラジオボタン  
設定した時刻に番組を表示します。

- ④ 「表示時間」を設定します。

- ⑤ 配信済のコンテンツを表示用端末に配信するかどうか設定します。

「配信済コンテンツとの差分データだけを配信する」にチェックすると、未配信コンテンツ(ファイル名、ファイル作成日時、データサイズ等が異なるデータ)のみを配信し、配信済コンテンツは配信しません。



臨時番組の表示前後にパネル制御を行わない場合：

- ⑥ 「番組表示前後に、パネル制御をおこなう」チェックボックスのチェックを外します。

- ⑦ [OK]をクリックします。

臨時番組が確定します。

確定した番組(番組停止コマンド)には確定マーク()が表示されます。

臨時番組の表示前後にパネル制御を行う場合：

- ⑥ 「番組表示前後に、パネル制御をおこなう」チェックボックスをチェックし、[OK]をクリックします。  
[パネル制御コマンドの指定]ダイアログボックスが表示されます。

- ⑦ パネル制御コマンドを指定します。

- 「番組表示前に、パネルの電源をON する」チェックボックス

パネルの電源を入れた後、臨時番組を表示します。

- 「番組表示前に、パネルの入力を以下に切り換える」チェックボックス

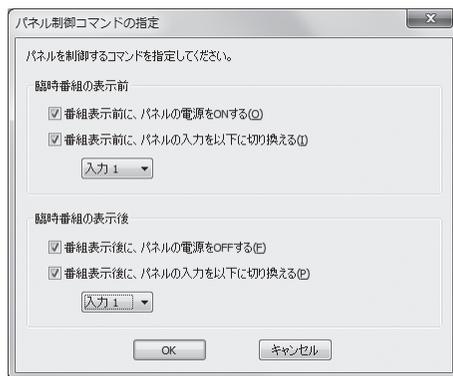
指定の入力に変えた後で、臨時番組を表示します。

- 「番組表示後に、パネルの電源をOFF する」チェックボックス

臨時番組の表示が終了した後、パネルの電源を切ります。

- 「番組表示後に、パネルの入力を以下に切り換える」チェックボックス

臨時番組の表示が終了した後、指定の入力に変えます。



- ⑧ [OK]をクリックします。  
臨時番組が確定します。  
確定した番組(番組停止コマンド)には確定マーク  
(🔒)が表示されます。



ご参考

- PULL型配信では、配信確定後、表示用端末からアクセスがあったタイミングで配信が開始されます。
- パネル制御では下記の制限があります。  
LB-46GX35、LB-52GX35では、パネルの電源をONすることができません。  
PNシリーズ、LB-1085では、入力を「TV」に変えることはできません。
- 既に時刻が過ぎていた場合、臨時番組は表示されません。
- 臨時番組の表示終了後、通常番組の表示に変わります。臨時番組が終了した時刻に本来表示されているはずの番組が始めから表示されます。
- 臨時番組の終了は、毎分丁度(00秒)に確認されます。臨時番組の表示が終わり本来の番組が始まるのは、臨時番組終了後の最初の00秒時点となります。
- 臨時番組は、1パネルにつき1つしか割り付けできません。

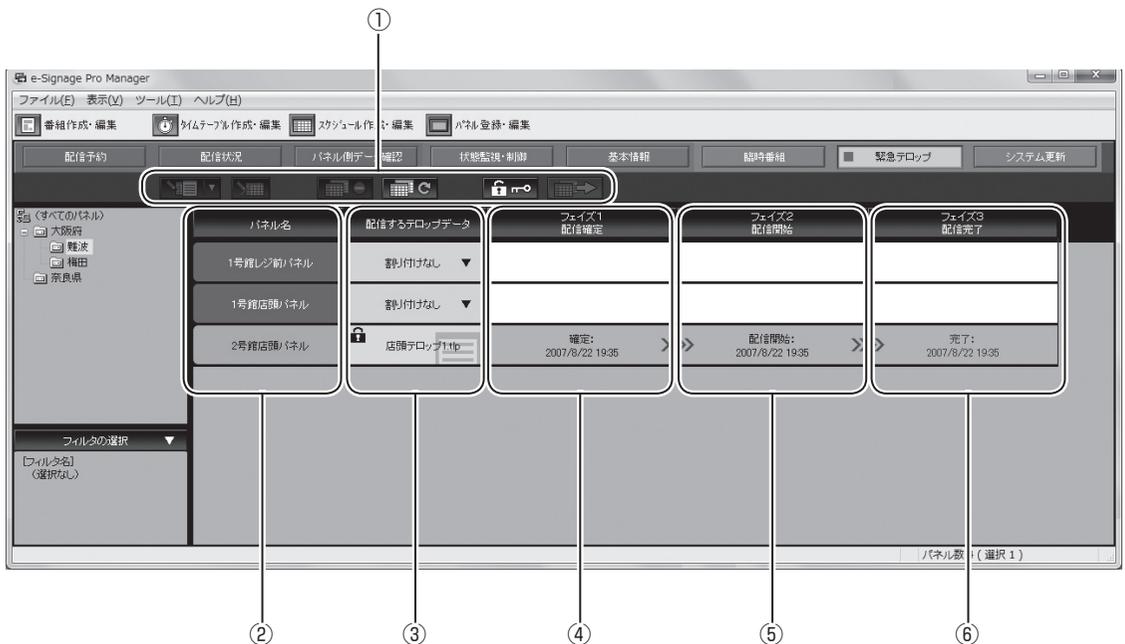
## 緊急テロップ

臨時にテロップを配信することができます。  
また、その配信状況を確認することができます。  
表示用端末がAndroid端末の場合は、緊急テロップの配信はできません。

※ 動作環境設定で **緊急テロップ** が表示されるよう設定してください。(11ページ)

ご参考

- テロップの表示を止めるときは、テロップ停止コマンドを配信します。(28ページ)
- あらかじめテロップで表示する文章を入力したテロップファイルが必要です。  
テロップファイルは、e-Signageのテロップエディタで作成します。  
緊急テロップリストを右クリックして[テロップを新規作成]をクリックしても、テロップエディタを起動することができます。



## ① 操作ツールバー

	パネルに臨時に配信するテロップ(テロップ停止コマンド)を割り付けます。 配信するパネルを選び、このアイコンをクリックします。(28ページ)
	テロップ(テロップ停止コマンド)を割り付ける前の状態に戻します。 割り付け前の状態に戻したいパネルを選び、このアイコンをクリックします。
	配信が完了していないテロップ(テロップ停止コマンド)の配信を中止し、確定を解除します。 配信を中止するパネルを選び、このアイコンをクリックします。
	配信エラーとなったテロップ(テロップ停止コマンド)を送信し直します。 再送信するパネルを選び、このアイコンをクリックします。
	パネルに割り付けられ確定したテロップ(テロップ停止コマンド)の確定を解除します。 確定を解除するパネルを選び、このアイコンをクリックします。
	テロップ(テロップ停止コマンド)の割り付けを確定し、配信を予約します。 確定させるパネルを選び、このアイコンをクリックします。

## ② パネル名

パネル名が表示されます。

グループツリーやフィルタで表示するパネルを絞り込むことができます。

ヘッダ部をクリックすると、パネル名の昇順/降順で並び換えることができます。

## ③ 緊急テロップリスト

パネルに割り付けられているテロップの情報が表示されます。

割り付けられているテロップをダブルクリックすると、e-Signageのテロップエディタでテロップを編集することができます。テロップが割り付けられていない場合は、テロップまたはテロップ停止コマンドを割り付けることができます。

ヘッダ部分をクリックすると、テロップファイル名の昇順/降順で並び換えることができます。

右クリックで表示されるメニューで各種操作を行うことができます。

## ④ 配信確定

配信を確定した日時が表示されます。

ヘッダ部をクリックすると、日時の昇順/降順で並び換えることができます。

## ⑤ 配信開始

配信を開始した日時が表示されます。

ヘッダ部をクリックすると、日時の昇順/降順で並び換えることができます。

## ⑥ 配信完了

配信が完了した日時が表示されます。

配信が正しく行われなかった場合は、その理由が表示されます。

ヘッダ部をクリックすると、日時の昇順/降順で並び換えることができます。

### ご参考

- PULL型配信では、配信確定後、表示用端末からアクセスがあったタイミングで配信が開始されます。
- テロップ停止コマンドをダブルクリックしても編集することはできません。
- 配信が確定すると、テロップの編集はできません。編集する場合は、確定を解除してください。

## ●緊急テロップやテロップ停止コマンドを配信する

臨時にテロップを配信します。

緊急テロップの表示を止めるときは、テロップ停止コマンドを配信します。

1. 機能切換ボタンの **緊急テロップ** をクリックします。

**緊急テロップ** が表示されていない場合は、動作環境設定の設定を変更してください。(11ページ)

2. ディスプレイリストにテロップ(テロップ停止コマンド)を割り付けるパネルを表示させます。

- ・グループツリーでグループに登録されているパネルのみを表示させることができます。
- ・フィルタを指定して、条件に合ったパネルのみを表示させることができます。(10ページ)

3. テロップ(テロップ停止コマンド)をパネルに割り付けます。

- ① テロップ(テロップ停止コマンド)を割り付けるパネルを選びます。

複数のパネルを選ぶときは、【Shift】キーまたは【Ctrl】キーを押しながらクリックします。



- ②  をクリックします。

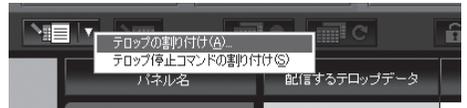
緊急テロップの場合：

- ③ [テロップの割り付け]をクリックします。

[ファイルを開く]ダイアログボックスが表示されます。

- ④ テロップを選び、[開く]をクリックします。

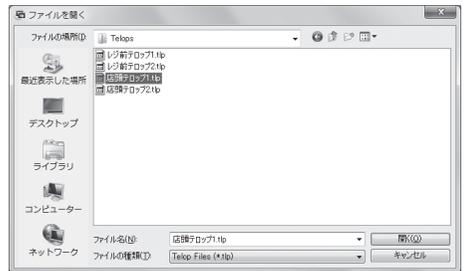
緊急テロップが割り付けられます。



テロップ停止コマンドの場合：

- ③ [テロップ停止コマンドの割り付け]をクリックします。

テロップ停止コマンドが割り付けられます。



4. 配信を確定します。

- ① 配信を確定するパネルを選びます。

複数のパネルを選ぶときは、【Shift】キーまたは【Ctrl】キーを押しながらクリックします。

- ②  をクリックします。

- ③ [[はい]をクリックします。

配信が確定します。

確定したテロップ(テロップ停止コマンド)には確定マーク  が表示されます。



### ご参考

- ・緊急テロップの表示位置は、表示用端末のe-Signageクライアントスケジューラで指定します。
- ・緊急テロップ表示中は、番組に含まれるテロップは表示されません。

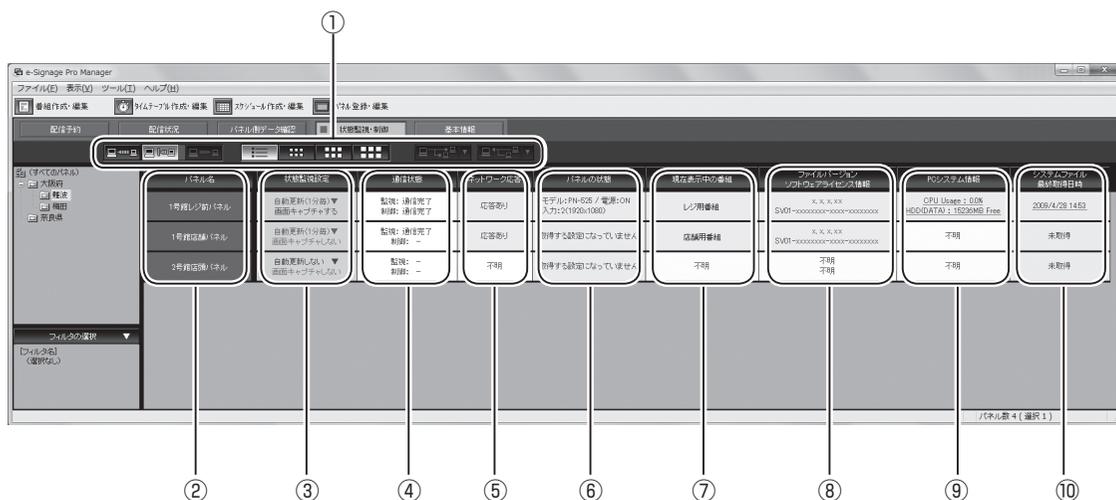
## 状態監視・制御

パネルの状態を取得し、確認することができます。  
また、PCやパネルの電源など制御することができます。

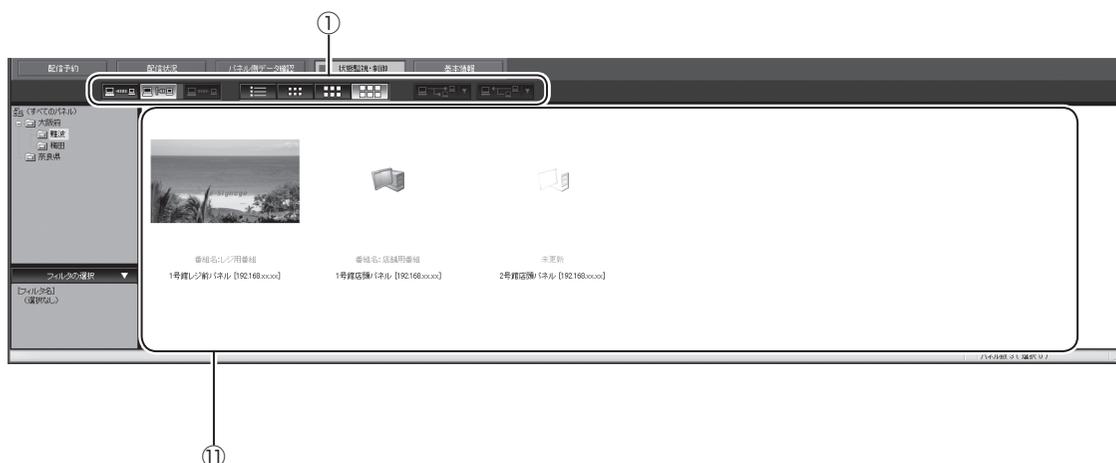
### ご参考

パネルの状態監視は、インフォメーションディスプレイ(PN シリーズ)、タッチディスプレイで利用できます。

### リスト表示



### サムネイル表示



### ① 操作ツールバー

	パネルの自動監視を行います。 [自動更新する]に設定されているパネルの情報を定期的に取得し、表示します。 情報を取得する間隔は、動作環境設定で変更することができます。(11ページ)
	パネルの自動監視を停止します。
	パネルの状態を取得します。 状態を取得するパネルを選び、このアイコンをクリックします。
	パネルの状態を一覧で表示します。
	パネルの状態をサムネイルで表示します。 サムネイルの大きさを変えることができます。
	
	パネルや表示用端末の電源ON/OFFなどの制御をすることができます。(32ページ)
	表示用端末のシステムファイルを取得することができます。(32ページ)

### ② パネル名

パネル名が表示されます。

グループツリーやフィルタで表示するパネルを絞り込むことができます。

ヘッダ部をクリックすると、パネル名の昇順/降順で並び換えることができます。

### ③ 状態監視設定リスト

パネルごとに状態監視設定の内容が表示されます。

設定の変更は、右クリック(またはダブルクリック)で表示されるメニューで行います。

手で状態を取得する	パネルの状態を取得します。
サムネイルファイルを開く	サムネイルをJPEGファイルに関連付けられたアプリケーションで表示します。
自動更新する	パネルの自動監視を行う際、自動更新をするかしないかを設定します。
自動更新しない	
画面キャプチャする	パネルの状態を取得する際、表示用端末が表示している内容を画像として取得するかしないかを設定します。 取得した画像はサムネイル表示の際に表示されます。
画面キャプチャしない	

ヘッダ部をクリックすると、設定内容の昇順/降順で並び換えることができます。

### ④ 通信状態

状態監視と制御の通信状態が表示されます。

ヘッダ部をクリックすると、状態の昇順/降順で並び換えることができます。

### ⑤ ネットワーク応答

通信の結果、応答の有無が表示されます。

ヘッダ部をクリックすると、状態の昇順/降順で並び換えることができます。

### ⑥ パネルの状態

取得したパネルの状態が表示されます。

ヘッダ部をクリックすると、状態の昇順/降順で並び換えることができます。

表示用端末のパネルの状態を取得する場合は、動作環境設定の「パネル(PNシリーズ)の状態取得」チェックボックスをチェックしてください。(12ページ)

### ⑦ 現在表示中の番組

現在表示中の番組名が表示されます。

ヘッダ部をクリックすると、番組名の昇順/降順で並び換えることができます。

動作環境設定の「現在表示している番組情報の取得」チェックボックスのチェックを外すと、番組名は表示されません。(12ページ)

### ⑧ ファイルバージョン、ソフトウェアライセンス情報

表示用端末にインストールされている e-Signage ビューア版のバージョンおよびソフトウェアライセンス情報が表示されます。

ヘッダ部をクリックすると、バージョンの昇順/降順で並び換えることができます。

動作環境設定の「ライセンス情報とファイルバージョンの取得」チェックボックスのチェックを外すと、バージョンおよびソフトウェアライセンス情報は表示されません。(12ページ)

### ⑨ PCシステム情報

表示用端末のシステム情報が表示されます。この項目をクリックすると詳細な情報を表示します。

動作環境設定の「PCシステム情報の取得」チェックボックスのチェックを外すと、PCシステム情報は表示されません。(12ページ)

### ⑩ システムファイル最終取得日時

表示用端末からシステムファイルを取得(32ページ)した日時を表示します。この項目をクリックするとシステムファイル保存フォルダが開きます。(システムファイルはサービス技術者が使用します。)

### ⑪ パネルアイコン/サムネイル

取得したパネルの状態がアイコンやサムネイルで表示されます。

パネルアイコン/サムネイル	状態
	パネル/表示用端末の状態が取得できていない状態
	表示用端末から応答がない状態
	表示用端末から応答があり、表示している画面のキャプチャ画像が取得できていない状態
 (一例です)	表示用端末から応答があり、表示している画面のキャプチャ画像が取得できた状態 ※ 取得できたキャプチャ画像がサムネイル表示されます。(表示用端末の表示により異なります。) ※ インフォメーションディスプレイの状態が <ul style="list-style-type: none"> <li>・電源オフのとき</li> <li>・ハード異常を検出したとき</li> <li>・複数台接続時に状態の異なるものがあるとき</li> <li>・状態取得に失敗したとき</li> </ul> は、左のアイコンが表示されます。

グループツリーやフィルタで表示するパネルを絞り込むことができます。  
 パネルアイコンやサムネイルを右クリックして表示されるメニューで状態監視の設定ができます。  
 メニューの詳細は「③状態監視設定リスト」(30ページ)を参照してください。  
 サムネイルをダブルクリックすると、動作環境設定で設定したアプリケーションソフトでサムネイルを表示させることができます。  
 PULL型配信では、表示用端末からアクセスがあったタイミングで状態が取得されます。

## ●表示用端末/パネルを制御する

パネルや表示用端末を制御することができます。  
 表示用端末がAndroid端末の場合は、電源のON/OFF、再起動、時計合わせはできません。

1. 機能切替ボタンの  をクリックします。
2. ディスプレイリストに制御を行うパネルを表示させます。
  - ・グループツリーでグループに登録されているパネルのみを表示させることができます。
  - ・フィルタを指定して、条件に合ったパネルのみを表示させることができます。(10ページ)
3. 制御を行うパネルを選びます。  
 複数のパネルを選ぶときは、【Shift】キーまたは【Ctrl】キーを押しながらクリックします。
4.  をクリックし、制御内容を選びます。

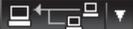
メニュー名	内容
表示用端末の電源をON	選んだパネルの表示用端末の電源をONします。 PULL型配信では行えません。
表示用端末の電源をOFF	選んだパネルの表示用端末の電源をOFFします。
表示用端末の再起動	選んだパネルの表示用端末を再起動します。
表示用端末の時計合わせ	表示用端末の時計を管理用PCの時刻に合わせます。
パネルの電源をON	選んだパネルの電源をONします。 ただし、LB-46GX35、LB-52GX35では、電源をONすることはできません。
パネルの電源をOFF	選んだパネルの電源をOFFします。
パネルの入力切替	選んだパネルの入力を切り換えます。 ただし、PNシリーズ、タッチディスプレイ、LB-1085では入力を「TV」に変えることはできません。
番組の表示を一時中断	番組の表示を一時中断します。
番組の表示を再開	一時中断した番組の表示を再開します。

確認メッセージが表示されます。

5. 【はい】をクリックします。  
 処理が実行されます。  
 PULL型配信では、表示用端末からアクセスがあったタイミングで制御が行われます。

## ●システムファイルを取得する

表示用端末のシステムファイルを取得することができます。  
 (システムファイルはサービス技術者が使用します。)

1. 機能切替ボタンの  をクリックします。
2. ディスプレイリストにシステムファイルを取得するパネルを表示させます。
  - ・グループツリーでグループに登録されているパネルのみを表示させることができます。
  - ・フィルタを指定して、条件に合ったパネルのみを表示させることができます。(10ページ)
3. システムファイルを取得するパネルを選びます。  
 複数のパネルを選ぶときは、【Shift】キーまたは【Ctrl】キーを押しながらクリックします。
4.  をクリックし、取得するファイルを選びます。

PULL型配信では、表示用端末からアクセスがあったタイミングでシステムファイルが取得されます。

## ご参考

- 取得したシステムファイルは、10回分保存されます。10回を超えると、e-Signage Pro マネージャ起動時に、古いものから自動的に削除されます。
- DirectX情報を取得する場合、表示用端末にDirectX バージョン9.0以降がインストールされている必要があります。
- 表示用端末の状態、取得するファイルによっては、取得に時間がかかる場合があります。
- システムファイル取得中は、パネルの状態を取得することはできません。  
パネルの自動監視を行っている場合は、自動監視を停止してください。

## 基本情報

各パネルの登録内容を確認することができます。

ランチャーバーの[パネル登録・編集]で登録したパネルの情報が表示されます。(8ページ)

The screenshot shows the 'e-Signage Pro Manager' application window. The '基本情報' (Basic Information) tab is selected. The main area displays a table with the following data:

パネル名	ビューアID IPアドレスまたはホスト名	電源管理	コント1	コント2	コント3
1号路レシ前(パネル)	192.168.xxxxx	しない	(なし)	(なし)	(なし)
1号路店頭(パネル)	192.168.xxxxx	しない	(なし)	(なし)	(なし)
2号路店頭(パネル)	192.168.xxxxx	起動時刻 8:00 終了時刻 20:00	店頭(パネルです。)	(なし)	(なし)

On the left side, there is a tree view showing the hierarchy: 大塚府 (Otsu City) > 転送 (Transfer) > 輸送 (Transport) > 奈良県 (Nara Prefecture). Below the table, there is a 'フィルタの選択' (Filter Selection) section with a dropdown menu and a text input field containing '(フィルタなし) (選択なし)'.

## ご参考

- グループツリーやフィルタで表示するパネルを絞り込むことができます。
- それぞれのヘッダ部をクリックすると、各項目の昇順/降順で並び換えることができます。

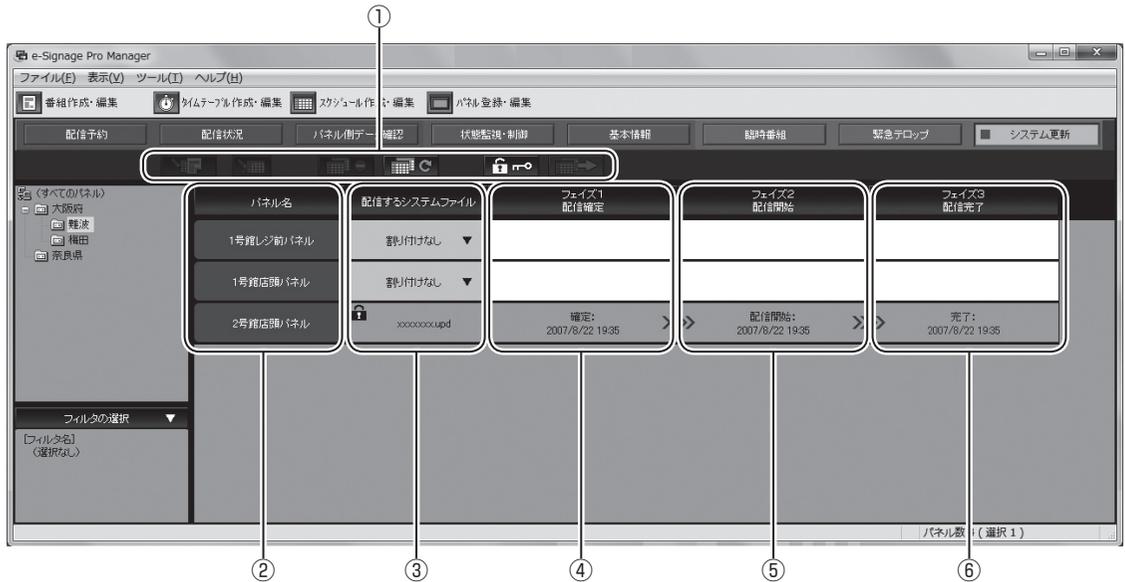
# システム更新

システム更新では、表示用端末のe-Signageビューア版のアップデートや、表示用端末の設定変更などを行うことができます。

※ 動作環境設定で **システム更新** が表示されるよう設定してください。(11ページ)

## ご参考

将来のアップデートをお約束するものではありません。



## ① 操作ツールバー

	パネル(に接続されている表示用端末)に配信するシステムファイル(アップデートや設定など)を割り付けます。配信するパネルを選び、このアイコンをクリックします。(35ページ)
	システムファイルを割り付ける前の状態に戻します。 割り付け前の状態に戻したいパネルを選び、このアイコンをクリックします。
	配信が完了していないシステムファイルの配信を中止し、確定を解除します。 配信を中止するパネルを選び、このアイコンをクリックします。
	配信エラーとなったシステムファイルを送信し直します。 再送信するパネルを選び、このアイコンをクリックします。
	パネル(に接続されている表示用端末)に割り付けられ確定したシステムファイルの確定を解除します。確定を解除するパネルを選び、このアイコンをクリックします。
	システムファイルの割り付けを確定し、配信を予約します。 確定させるパネルを選び、このアイコンをクリックします。(35ページ)

## ② パネル名

パネル名が表示されます。

グループツリーやフィルタで表示するパネルを絞り込むことができます。

ヘッダ部をクリックすると、パネル名の昇順/降順で並び換えることができます。

## ③ システムファイルリスト

パネルに割り付けられているシステムファイル(アップデートや設定など)のファイル名が表示されます。

ダブルクリックすると、システムファイルを割り付けることができます。

ヘッダ部分をクリックすると、システムファイル名の昇順/降順で並び換えることができます。

右クリックで表示されるメニューで各種操作を行うことができます。

#### ④ 配信確定

配信を確定した日時が表示されます。

ヘッダ部をクリックすると、日時の昇順/降順で並び換えることができます。

#### ⑤ 配信開始

配信を開始した日時が表示されます。

ヘッダ部をクリックすると、日時の昇順/降順で並び換えることができます。

#### ⑥ 配信完了

配信が完了した日時が表示されます。

配信が正しく行われなかった場合は、その理由が表示されます。

ヘッダ部をクリックすると、日時の昇順/降順で並び換えることができます。

### ● アップデータを配信する

e-Signage ビューア版(PN-SV01)のアップデートを配信し、アップデートを行います。

1. 機能切替ボタンの  をクリックします。

 が表示されていない場合は、動作環境設定の設定を変更してください。(11ページ)

2. ディスプレイリストにアップデートを割り付けるパネルを表示させます。

- グループツリーでグループに登録されているパネルのみを表示させることができます。
- フィルタを指定して、条件に合ったパネルのみを表示させることができます。(10ページ)

3. アップデータをパネルに割り付けます。

- ① アップデータを割り付けるパネルを選びます。  
複数のパネルを選ぶときは、【Shift】キーまたは【Ctrl】キーを押しながらクリックします。

- ②  をクリックします。

- ③ 「アップデートの割り付け」をクリックします。  
[ファイルを開く]ダイアログボックスが表示されます。

- ④ アップデータを選び、[開く]をクリックします。  
アップデートが割り付けられます。

4. 配信を確定します。

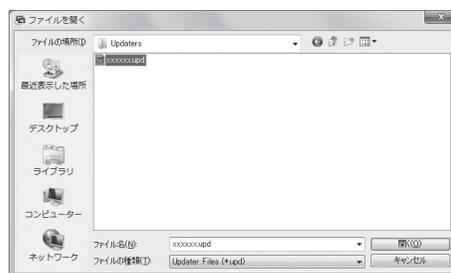
- ① 配信を確定するパネルを選びます。  
複数のパネルを選ぶときは、【Shift】キーまたは【Ctrl】キーを押しながらクリックします。

- ②  をクリックします。

- ③ [はい]をクリックします。

配信が確定します。

確定したアップデートには確定マーク  が表示されます。



#### ご参考

- 表示用端末でアップデートの受信が完了すると、アップデートが始まります。アップデート中、配信先パネルで番組は表示されません。(アップデート中 e-Signage 番組ビューアは終了します。)
- アップデート終了後、表示用端末は再起動され、番組表示を再開します。

## ●プリセット番組/デフォルト番組を配信する

表示用端末へプリセット番組/デフォルト番組を配信します。  
割り付ける番組データは、以下の方法で準備してください。

①番組データをエクスポートします。

②エクスポートした番組データのファイル名を変更します。

プリセット番組の場合：「プリセット番組ID.prg」に変更します。

プリセット番組IDは、1～99999999の整数(半角)です。

例：35.prg

デフォルト番組の場合：default.prg

表示用端末がAndroid端末の場合、プリセット番組/デフォルト番組の配信はできません。

1. 機能切替ボタンの  をクリックします。

 システム更新

が表示されていない場合は、動作環境設定の設定を変更してください。(11ページ)

2. ディスプレイリストに番組を割り付けるパネルを表示させます。

- ・グループツリーでグループに登録されているパネルのみを表示させることができます。
- ・フィルタを指定して、条件に合ったパネルのみを表示させることができます。(10ページ)

3. 番組をパネルに割り付けます。

①番組を割り付けるパネルを選びます。

複数のパネルを選ぶときは、【Shift】キーまたは【Ctrl】キーを押しながらクリックします。

②  をクリックします。

③「プリセット番組の割り付け」をクリックします。

[ファイルを開く]ダイアログボックスが表示されます。

④プリセット番組を選び、[開く]をクリックします。

プリセット番組が割り付けられます。

4. 配信を確認します。

①配信を確認するパネルを選びます。

複数のパネルを選ぶときは、【Shift】キーまたは【Ctrl】キーを押しながらクリックします。

②  をクリックします。

③ [[はい]をクリックします。

配信が確定します。

確定したプリセット番組には確定マーク()が表示されます。

### ご参考

- ・プリセット番組は、e-Signageキー/マウス監視ツールで利用します。
- ・デフォルト番組は、e-Signageクライアントスケジューラの「表示する番組が無い時、番組表示領域に対して次の動作を行う」の「以下の番組を表示する」で利用します。
- ・表示用端末で表示中の番組を配信することはできません。  
「番組の表示を一時中断」で再生を中断してから番組を配信してください。配信完了後は、「番組の表示を再開」を行ってください。(32ページ)

## ●コンテンツを事前配信する

表示用端末へコンテンツを事前に配信します。

表示用端末がAndroid端末の場合、コンテンツの事前配信はできません。

### 1. 機能切替ボタンの をクリックします。

 が表示されていない場合は、動作環境設定の設定を変更してください。(11ページ)

### 2. ディスプレイリストにコンテンツを割り付けるパネルを表示させます。

- グループツリーでグループに登録されているパネルのみを表示させることができます。
- フィルタを指定して、条件に合ったパネルのみを表示させることができます。(10ページ)

### 3. コンテンツをパネルに割り付けます。

- ① コンテンツを割り付けるパネルを選びます。  
複数のパネルを選ぶときは、【Shift】キーまたは【Ctrl】キーを押しながらクリックします。
- ②  をクリックします。
- ③ 「マイコンテンツの割り付け」をクリックします。  
[ファイルを開く] ダイアログボックスが表示されます。
- ④ コンテンツを選び、[開く]をクリックします。  
コンテンツが割り付けられます。

### 4. 配信を確定します。

- ① 配信を確定するパネルを選びます。  
複数のパネルを選ぶときは、【Shift】キーまたは【Ctrl】キーを押しながらクリックします。
- ②  をクリックします。
- ③ [[はい] をクリックします。  
配信が確定します。  
確定したコンテンツには確定マーク()が表示されます。

## ご参考

- コンテンツは、表示用端末のマイコンテンツフォルダに配信されます。  
同じファイル名がある場合、上書きされます。  
マイコンテンツフォルダは、e-Signageクライアントスケジューラで設定します。
- 表示用端末で使用中のコンテンツを配信することはできません。  
「番組の表示を一時中断」で再生を中断してからコンテンツを配信してください。配信完了後は、「番組の表示を再開」を行ってください。(32ページ)
- 以下のいずれかの方法で配信したコンテンツを表示用端末から削除することができます。
  - 削除したいデータと同じファイル名で、サイズが0のファイルを配信。
  - 削除したいデータの一覧を記載したテキストファイルを配信。  
マイコンテンツフォルダからの相対パスを各データ1行で記載してください。  
テキストファイルのファイル名は「Delete.lst」としてください。

## ●設定ファイルを配信する(サービス技術者用)

サービス技術者が使用します。通常は使用しません。  
管理用PCから表示用端末の設定を変更します。

1. 機能切換ボタンの  をクリックします。

 が表示されていない場合は、動作環境設定の設定を変更してください。(11ページ)

2. ディスプレイリストに設定ファイルを割り付けるパネルを表示させます。

- グループツリーでグループに登録されているパネルのみを表示させることができます。
- フィルタを指定して、条件に合ったパネルのみを表示させることができます。(10ページ)

3. 設定ファイルをパネルに割り付けます。

- ① 設定ファイルを割り付けるパネルを選びます。  
複数のパネルを選ぶときは、【Shift】キーまたは【Ctrl】キーを押しながらクリックします。
- ②  をクリックします。
- ③ 「設定ファイルの割り付け」をクリックします。  
[ファイルを開く]ダイアログボックスが表示されます。
- ④ 設定ファイルを選び、[開く]をクリックします。  
設定ファイルが割り付けられます。

4. 配信を確定します。

- ① 配信を確定するパネルを選びます。  
複数のパネルを選ぶときは、【Shift】キーまたは【Ctrl】キーを押しながらクリックします。
- ②  をクリックします。
- ③ [[はい]をクリックします。  
配信が確定します。確定した設定ファイルには確定マーク()が表示されます。

## ●パネル属性を配信する

表示用端末へパネル属性(パネル名・グループ名・コメント1・コメント2・コメント3)を配信します。配信されたパネル属性は、表示用端末で条件付きコンテンツを再生する際に判定条件として利用されます。表示用端末がAndroid端末の場合、パネル属性の配信はできません。

1. 機能切替ボタンの  をクリックします。

 が表示されていない場合は、動作環境設定の設定を変更してください。(11ページ)

2. ディスプレイリストにパネル属性を割り付けるパネルを表示させます。

- ・グループツリーでグループに登録されているパネルのみを表示させることができます。
- ・フィルタを指定して、条件に合ったパネルのみを表示させることができます。(10ページ)

3. パネル属性をパネルに割り付けます。

- ① パネル属性を割り付けるパネルを選びます。

複数のパネルを選ぶときは、【Shift】キーまたは【Ctrl】キーを押しながらクリックします。

- ②  をクリックします。

- ③ 「パネル属性の割り付け」をクリックします。

パネル属性ファイルが割り付けられます。

4. 配信を確定します。

- ① 配信を確定するパネルを選びます。

複数のパネルを選ぶときは、【Shift】キーまたは【Ctrl】キーを押しながらクリックします。

- ②  をクリックします。

- ③ [[はい]]をクリックします。

配信が確定します。確定したパネル属性には確定マーク()が表示されます。

### ご参考

- ・[グループ]は、グループの階層を/記号で区切った文字列となります。  
(例)/関東/東京/23区

# 配信スケジューラについて

## ●配信スケジューラの起動

配信スケジューラは、表示用端末との通信などを管理するためのツールです。  
配信スケジューラは、Windows起動時に「スタートアップ」より自動的に起動します。  
起動すると、タスクトレイにアイコン(🔌)が表示され、常駐します。  
通常は、終了しないでください。

### ご参考

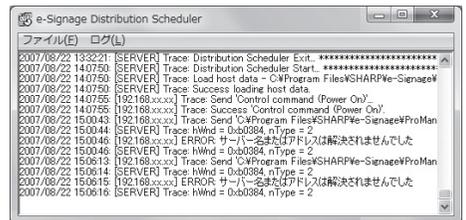
- e-Signage Proでは、e-Signageのサーバースケジューラは使用しません。
- 配信スケジューラの起動中は、e-Signageサーバースケジューラを起動しないでください。
- 通常は、操作する必要はありません。

## 配信スケジューラのメニュー

タスクトレイのアイコン(🔌)を右クリックするとメニューが表示されます。

### ログを表示

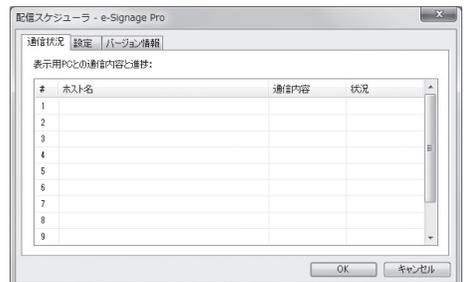
配信スケジューラの動作ログを表示します。  
ログのクリアや最新の状態に更新することができます。  
PULL型配信のログは、配信スケジューラの動作ログには、記録されません。



### 通信状況を表示

通信状況を一覧で表示します。  
PULL型配信の通信状況は表示されません。

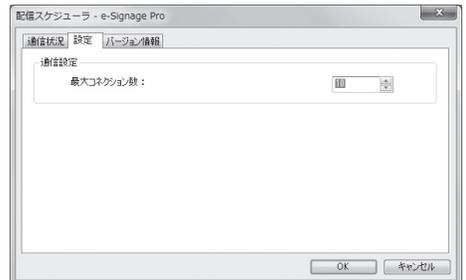
#	通信コネクションの通し番号が表示されます。
ホスト名	通信する相手のホスト名(またはIPアドレス)が表示されます。
通信内容	通信の内容が表示されます。
状況	通信の進捗状況が表示されます。



### 設定

他のPUSH型配信ホストと同時に通信する最大コネクションの数を設定できます。

- ※ 最大コネクション数には制御専用のコネクションが含まれます。そのため、スケジュール配信のために同時に使用できるコネクションは、「最大コネクション数 - 1」となります。  
PULL型配信のコネクション数には影響がありません。



### バージョン情報

配信スケジューラのバージョン情報を表示します。





「よくあるご質問」などは  
ホームページをご活用ください。



シャープサポートページ

<http://www.sharp.co.jp/business/lcd-display/support/>

## シャープ株式会社

本 社 〒590-8522 大阪府堺市堺区匠町1番地  
ビジネスソリューションカンパニー 〒639-1186 奈良県大和郡山市美濃庄町492番地

●住所などは変わることがあります。(2016.8)

V4.7 JA16H(1)